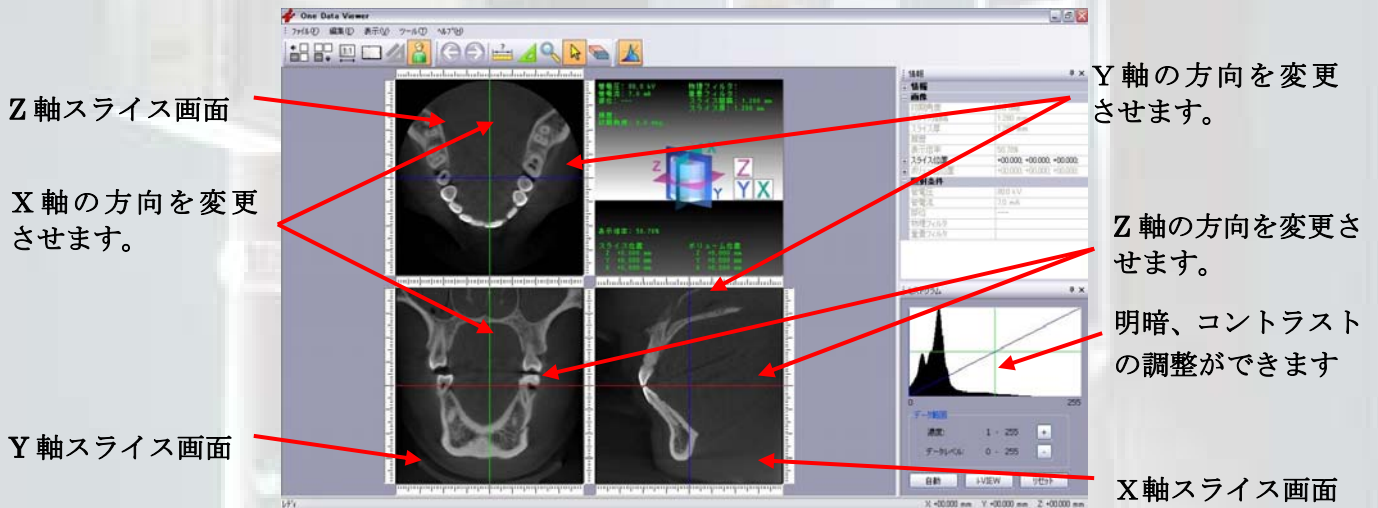


One Data Viewer データーが届いたら

ワンデータビューアープラス(Windows2000・XP 対応)により、i-VIEW ソフトがインストールされていない
 医院のパソコンでも3D画像を得ることが出来ます。

機能としては、3D画像(カーソルを動かすことでスライス診断画像を見ることが出来ます)、患者情報、
 距離計測、角度測定、ズーム、白黒反転、ブライトネス、コントラスト、ガンマ調整機能があります。

- 1) 患者さんの名前の付いたフォルダが記録媒体(DVD,CD-ROM)に焼き込まれています。
 このフォルダを PC の適当な場所にコピーしてください。
 ※この操作を行わなくても、記録媒体(DVD,CD-ROM)から直接起動出来ますが、時間がかかります。
- 2) コピーしたフォルダを開いてください。
- 3) ODViewer.exe を開いてください。



- 患者情報を表示します。
- 角度や長さの計測表示(注釈)を非表示にしたり、表示したりし
- カーソルを非表示にしたり、表示したりします。
- 1:1に拡大します。
- X、Z軸の方向を変更させます。



- イメージの調整ウィンドウを表示し、明るさ・コントラスト・ガンマ値を調整できます。
- 画面の上に追加された測定データを消去することが出来ます
- ツールメニューの機能をキャンセルします。
- ズーム(拡大鏡)ツールを使うことが出来ます。
- 角度の測定が出来ます。
- 距離の測定が出来ます
- 注釈のあるスライドへ移動します。